

令和3年 10月

■一般文学

「世界を救う100歳老人」

・著:ヨナス・ヨナソン

・訳:中村 久里子

・出版社:西村書店

タイトルだけを見ると、100歳が本当に救えるのか？と不思議に思ってしまうが、なんと元気いっぱい
の老人が世界を冒険するという、北欧発ドタバタアドベンチャーなのだ。しかも、世界各国のリーダーが実名
で登場するというから面白い。「人生は一度きりだ」「前向きに、気楽にいこう」主人公のこんなセリフから、
何でもやってみよう！と元気が出てくる。ベストセラーになった「窓から逃げた100歳老人」の続編だが、こ
の本だけでも楽しめる内容になっている。

(対象 一般)

■一般書

「366日物語のある絵画」

・解説・監修:海野 弘

・出版社:パイインターナショナル

ギリシア神話や聖書、アーサー王物語などの中世伝説物語を主題にした物語絵を1日1話ずつ美しい
カラーで掲載し、作品の情報や解説を添えて、紹介しています。ギリシア神話の神々や英雄たちの冒険
譚の相関図などもあり、西洋文化の源泉に触れることができます。レオナルド・ダ・ヴィンチ、エル・グレコ、
アルフォンソ・ミュシャ、グスタフ・クリムトといったなじみのある画家たちの作品も多く、芸術の秋にぴった
りの一冊です。

(対象 一般)

■児童書

「子どもを守る言葉『同意』って何? YES、NO は自分が決める!」

・作:レイチェル ブライアン

・訳:中井 はるの

・出版社:集英社

嫌なことをされない、相手を傷付けないための大切なポイントが『同意』。『同意』とは、何かをする時に
「いいよ」と言うこと。そして何を「いいよ」とするかは人それぞれ、時や相手によっても変わるもの。

この本では『同意』と『バウンダリー(自分が大丈夫だと思うか嫌だと思ふかの境界線)』という言葉を中心
に、安心できる人間関係をつくるために大切なことをたくさんのイラストでわかりやすく教えてくれます。

自分のことを決める権利は自分にあること。自分の考えや気持ちを伝えて、相手の考えや気持ちを本
人に確認すること。同意がなければやめること。自分や相手を尊重し、守るための基本が詰まったこの本
は、こどもにはもちろん大人も気づきを得られるはずです。

(対象 小学生から)

■絵本

「4 ひきのちいさいおおかみ」

・文:スベンヤ・ヘルマン

・絵:ヨゼフ・ヴィルコン

・訳:石川 素子

・出版社:徳間書店

星のきれいな夜、巣穴で目を覚ました4ひきのおおかみの子どもたち。おかあさんはたべものを探しに出かけていました。ちゃんと待っていないといけないのに、はやる気持ちを抑えることができません。

初めて自分たちだけで夜の森を冒険するときは、ドキドキでしたが、次第におなかがすいて、さびしくなって、不安になってしまいます。やがて、すっかり疲れてしまいますが、おかあさんの遠吠えが聞こえてホッとします。たっぷり叱られてしゅんとしつつも、また、冒険したいと思う4ひきなのでした。

すらすらと進むおはなしと、しぶく動きのある絵がとても素敵です。

(対象 幼児から)